

木馬会会報 (第73号)

＊高松宮杯特集＊



97/05/16

～木馬達の予想～

本紙 トゥインクルダンディーの予想

◎エイシンバーリン ○ホクトフィーバス ▲ビコーペガサス
△マサラッキ、フラワーパーク、シンコウフォレスト、シンコウキング

みなさんご存知のように、私は逃げ馬が好きである。自分が気分やだけに、馬も気分次第で走る逃げ馬が好きなわけである。今回のようにテンに速い馬が揃えば逃げ馬が総崩れになるのは目に見えてるが、それでも狙わずにはいられない。ちなみに去年の高松宮杯も何だかんだいって前残りである。ビコーペガサスでさえ4番手で競馬していたんだから。

ということで本命はレコードホルダーに敬意を表してエイシンバーリン。四国の井崎さんがいうように京都得意だけに前走のような見事なレースが出来るのは本当に良く分かっている。だが、前走より軽い斤量、一応開幕週で馬場が良いと思われること、昨年にはあのベストタイアップを封じ込めた実績、速くなるといわれるときに平均ペースといのは良くあること・・・自分に有利なことをあげればいくらでもありそうだ。ということでエイシンバーリンと心中しよう。

相手も当然ホクトフィーバス。はてさてどちらが控えるのか、先頭争いがとても楽しみ。叩き2走目、当然体調アップのはず。忘れた頃の的場くんも怖い。こちらも前走に比べて1 kg 軽い。

シルバーコレクタービコーペガサスは、やはりよくて2着だろう。昨年のようにテンについていけるかどうか逆心配。

5歳馬の成長を考えればマサラッキは最も恐いが、いくらスプリント戦とはいえ、休み明けは評価を下げるのが妥当。前走のホクトフィーバスが1番人気になりながら勝てなかったのと同様今回は？

フラワーパークと田原はどう考えても連に絡みそうだが、あえて評価を下げた。躓いたとかいろいろ理由はあるが、仮にもG1ホース、それなりに結果をださなくては・・・明らかに中距離馬のシンコウキングにまで差されての前走の4着、特に最後の失速はいただけない。

(ふえら氏へのお願い)

きみに教えてもらった「郊外レストランやまびこ」のステーキはとても美味でした(ちなみにきみが勘当された実家(と思われるもの)も拝見しました)。もっともっといろいろと美味しい店を教えてください。

栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

今年の高松宮杯は、2頭の牝馬の取捨がポイントとなるだろう。まず、実力馬フラワーパーク。結果からいうと、私は軽く見る。確かに実力はナンバーワンだし、前走も1,2完歩目に躓き、流れに乗れなかったという。しかし、あれだけの実力馬が道中2番手につけて、大名マーク。逃げ切られたのは仕方ないにしても、自分の競馬ができて2着も死守できないのはどういう事か？(2着なら、馬券も万々歳だったの

でなおさらだ)直線での失速は、1,2完歩目の躓きが原因にはならないはず。叩き台のマイラーズカップは休み明けと距離もあるからしかたないにしても、堅実が身の上のこの馬が2回連続して4着とは、齒車がかみ合っていないとしか思えない。春のこの時期、調子を崩した牝馬がなかなか立ち直れないのは、ダイイチルビーや、ニシノフラワーの例から見ても明らかだ。もう1頭はエイシンバーリン。前走は素晴らしい快速ぶりを見せ、一躍高松宮杯の主役に躍り出た。その前走は8番人気で、他の有力馬のマークが緩んでいたのは確かだが、それにしても見事だった。しかし、しかしだ。レースをよく見ていた人はわかるだろうが、とにかく押して押してハナに立ったのだ。最初の2,300mは南井がしごきまくっていた。しかしそれでいて、最初の1ハロンは12.5秒もかかっている。これは短距離線ではかなり遅いタイムである。ロケットスタートのエイシンワシントンが11秒台をマークしていたのは別格としても、普通の逃げ馬なら、12秒台前半が普通。前走は逃げ馬がいなかったの、すんなり逃げれば恐いと思ったこの馬を狙って、うまくはまりそうだったのだが、今回は、かなり速いホクトフィーバスがいる。スタート後の1ハロンを案に12秒で走れるこの馬に、バーリンが無理に絡んでいけば、直線で潰れるのは目にみえている。といって、2番手に控えても、フラワーらのマークがきつく、さらにぼろぼろに負けることだろう。逆に、ホクトが出遅れたりしてすんなり逃げれば、かなり有力なのは間違いないが...

じゃあ、何が本命？というところだが、消去法でいこうと思う。シンコウキングはいつも結構人気になるが、重賞では連に絡んだことすらない。切れる脚がなく、粘って粘って他の馬の失速や末脚の不発を待つタイプで、今回も他の馬がどう走るかという他人任せであることに変わりはない。同じシンコウのフォレストは、前走は、道悪、軽ハンデで快勝したが、もともと速い持ちタイムがなく、前走より3キロ重くなり、重賞実績は前走のみで、道悪要員としての扱いが妥当だろう。マサラッキは速い時計を持ってるし、器用なので悔れないが、6ヶ月の休み明けで、牧場から帰ってきたのが3月中旬、時計を出し始めたのが4月中旬ということで、いくら短距離戦とはいえ、攻め不足は明らか。恐いのは、急遽出走を決めたスギノハヤカゼ。京王杯に出た時に「なんで、高松宮杯を使わんの？中京は減法得意じゃなかよー」と思ったらやはり連闘で使ってきた。連闘自体は問題はないだろう。ただ、外国馬特有の信用ならない成績がどうもねえ。人気にもなるだろうから、本命にはしない。

となると、展開面を考えて、以下の2頭軸とする。まず逃げるのは出遅れない限り、ホクトになる。ここでバーリンが絡んでくるかどうかなのだが、無理に絡んでは直線もたないと南井が判断すれば、ホクトの楽逃げ。人気もなく、他の馬は番手につけるバーリンを目標にすることで、かなり楽に逃がしてくれるだろうと思う。さて、ではそのホクトだが、一昨年のスプリンターズSでは、逃げなくては持ち味が出ないこの馬にとっては天敵であるロケットマン・ワシントンがいたため逃げられず、5番人気5着。しかし、逃げた時のしぶとさには定評がある。逃げると11戦8勝である。中山の坂越えを何とも思わないのだから、平坦は更に良いだろう。前走より斤量も減るし、オープン大將っぽい雰囲気は大いにあるが、だからこそ楽に逃げれると見て、1頭目の本命。もう一つの予想展開としては、やはりバーリン・南井が「この馬は逃げんといかんのじゃあ(逃げると9戦6勝)」とばかり、しごきにしごきまくり、ホクトに絡む場合。そうなるとこの2頭は確実に潰れる。この展開では、実力No.2ビコーペガサスの差し脚が、

もっとも信用できる。ビコーが連に絡まないのは、やはりフラワーが強く、エイシン、ホクトを楽に逃がしてしまった場合だけだと思うので、軸としては申し分ないだろう。

気になるのはホクト陣営が、2、3番手でも競馬ができるとコメントしている点。そうじゃない、逃げねばならんのよ。的場のひとチャンはわかってるよね。あと恐いのは、ホクトの出遅れのみ。そうなる、この展開の読みも全く役に立たないことになる。

最近エステに凝っているデブバケボノはやせればいいってもんじゃないし、あの巨漢では中京は不利。マリーゴットも速い時計がないし、斤量も不利。

◎…ホクトフィーバス、ビコーペガサス

△…フラワーパーク、スギノハヤカゼ、シンコウキング、

今週は用事があって、多分高松宮しか買わないだろう。来週オークスは堅そうだし、ダービーはまるでわからん。今週、ホクトフィーバスからなら結構つくので、ちょっと金額をはってみようかな。現在の回収率63.5%

こだわりの“へな”

◎…シンコウフォレスト マサラッキ

△…フラワーパーク ビコーペガサス マリーゴット

…“へな”の理屈…

世代交代はどこの世界でも必ず起こる。馬場・猪木から藤波・長州・鶴田・天龍、そして闘魂三銃志・三沢・川田へ。～盛者必衰～ 必衰ではないのだが、若い世代が力をつけてやがて追い抜いていく。勝負とは無情なものだ。でもだからこそ面白いのだが…。

今回の宮杯ではその世代交代の匂いがプンプンする。5歳馬のシンコウフォレストとマサラッキだ。盛者であるフラワーパークとビコーペガサスを追い抜いても何ら不思議ではない。そして競馬はどんどん面白くなっていく…。

～ふえら～

◎フラワーパーク

△ビコーペガサス、ヒシアケボノ、エイシンバーリン、マサラッキ、
シンコウキング、シンコウフォレスト

フラワーパークがきてくれればそれでいいです。後は何も望みません。ただ、お腹が空いて死にそうです。何か食べ物が欲しくて欲しくてしょうがありません。とうとう食べ物がなくなりました。電話も止められそうです。競馬なんてやっている場合じゃありません。120円もデイリーに使ってしまいました。太っているヒシアケボノが羨ましい。ああ、お腹が空いた。おっ、サボテン発見！これ食べれるかな。おうっと、卵が冷蔵庫（ちなみに冷蔵庫を英語でなんて言うか知っているかな？冷凍庫じゃないからね）の中にあるではないか。これは食べれるぞ。生はいかん。製造年月日を書いてないからいまいち信用できない。が、ゆでれば大丈夫だろう、きっと。ガスの元栓を開かないと、んっ、ガスがない！やばい。止められている？違う違うもともとこの部屋にはガスがないのだ。いかん、うだうだしているうちに意識がもうろうとしてきた、眠い、睡魔が襲ってきた。あっ、あっ、いくうー、いくうー。だめだ、変な言葉が頭を駆け巡っている。本当に意識が薄れていく。ここはどこ？私はヒダカブライアン。ネッ、教えてここはどこなの、とても綺麗、お花がたくさん咲いている。花園？それは大阪それとも埼玉県？そうかフラワーパークか。

ということで、僕はフラワーパーク短小1万円いかせてもらいます。

ライスシャワシャワ

ライスシャワのヨソはよそう？

◎シンコウフォレスト ○マサラッキ

▲フラワーパーク △エイシンバーリン、ビコーペガサス

とにかく不調続きの今年。どっぷりと泥沼にはまり込み、出られる気がしません。なにせ、今年は「払い戻し機」の前に立ったのは3回しかないんですから（ちなみに毎週馬券は買っております）。しかもその内1回は、出走除外になって買い戻しとなったもの。ということで、どうせ今週も当たらないでしょうが、予想だけはします。

春の短距離王決定戦・高松宮杯。勝つのは◎シンコウフォレスト。前走阪急杯は初めての重賞挑戦であっさりと勝ってしまった。これまで9戦5勝。着外の3回は新馬戦と休養明けの2戦のみで、あとは3着1回。その5勝はすべて1,200mでのもの。まだ底を見せておらず、持ちタイムこそないが、走れば走っただけ上昇している今なら相手なりに走ってくれるものと見る。スタートして、ずっと好位に付けられるので、小回りの中京コースも大丈夫であろう。

相手には休み明けではあるが、○マサラッキ。休養前はGII・スワンSとCBC賞で連続して3着。CBC賞では1分7秒6で走っており、時計の面からも裏付けがある。帰厩してから順調に乗り込まれているようで、調教でも好時計を出しているし、なんとか「休養」を克服してくれるであろう。シンコウフォレストとともに、若さに掛けてみたい。

スプリンターズSの後、マイラーズCとシルクロードSとともに4着とイマイチのフラワーパークであるが、この馬には距離が長いマイラーズCは仕方ないにしても前走がだらしない。スタート直後つまづいてリズムに乗れなかったのが敗因らしいが、昨年がピークで峠を過ぎたのかなと疑いたくなってしまう。それでもメンバーを見れば、「抜け」にすることもできず、3番手の評価。巻き返して当然の馬だけにあっさり勝たれたら、やっぱり強かったねえということで…。

シルクロードSを1分6秒9のレコード勝ちした大好きなエイシンバーリン。決してテンに速いわけではなく、ホクトフィーバスがいる今回はすんなりと先手が取れるかどうか？逃げ馬の宿命でもあるが、逃げられないと非常にもろい。府中で2勝しており、左回りがだめとは思わないが、あくまでも展開をにらんで、△の評価。

△にもう1頭、ビコーペガサス。シルクロードSで2着に突っ込み、末脚は健在であったが、あまりにこの馬は運が無さ過ぎる。それなりの実力は認めるが、運も実力のうちということで、G1を勝ちきすることはできないのでは。新馬から3連勝し、その間にはヒシアマゾンも破っている。しかし、その後は1勝のみ。気がついてみれば、はや7才となり、暮れのスプリンターズSは、勢いのある4才・5才馬の方が上であろう。G1制覇のラストチャンスとも言える今回は「頑張ってね」ということで△を献上する。

メニーフレンズ

◎フラワーパーク、ホクトフィーバス ○チアズサイレンス

△シンコウキング、ビコーペガサス

久し振りの原稿です。木馬会の皆さんお元気ですか。

ところで、先日のNHKでは、ヒコーキグモ君の根性なしのおかげで、桜花賞につづき2回目の「特ヌケ」（特オチともいいますが）を食らってしまい、ついに最下位に転落してしまいました。このままでは、木馬会から除名をいい渡されそうです。そうならないよう、今から「助命」運動をしておこうと思います。

さて、高松宮杯です。このレースは、昨年も書きましたが私が大好きだった希代の逃げ馬であるキョウエイレアが、10年以上前に制した思い出のレースであります。そこで本来であれば逃げ馬であるホクトフィーパス（お母さんのホクトビーナスも思い出の馬です）から流すところではありますが、何ぶん上記の事情からフラワーパークを押さえにしました。

予想はウソヨ 四国の井崎

高松宮杯と聞いて、1200m G1というのがまだピンと来ない。「レース名を変えてくれないかなあ」と感じるのは私だけだろうか？高松宮杯は暑い夏の中京の2000m G2戦という郷愁が強い。文句を言っても予想はせねばならない。

好評のタイム評価、良馬場なら今回も非常に有効だと思っています。G1なので500万クラスの時計から1200m 1.7秒、1400m 2.0秒、1600m以上 2.2秒速い時計を基準タイムとしています。

A マサラッキ	-0.7	+0.1	+0.5
B フラワーパーク	+0.2	-1.0	-0.3
C エイシンバーリン	-2.6	-1.3	+0.4
ビコーベガサス	-1.2	-0.7	-0.3
シンコウフォレスト	-2.0	-0.4	-0.4
エイティグロ	-0.3	-0.6	-1.8
シンコウキング	-1.0	-0.9	-0.3
スギノハヤカゼ	-0.9	-1.4	-1.6
ヒシアケボノ	-0.7	-1.6	-1.7
ホクトフィーパス	-0.4	-0.4	-0.7
ノーブルグラス	+0.1	-1.4	-1.3
マリーゴッド	-4.3	-1.3	-0.7
シネマスコープ	-1.1	-0.7	-0.8
チアズサイレンス	-0.9	-0.6	-2.5

◎…マサラッキ ○…フラワーパーク ▲…シンコウフォレスト

時計を調べる前はフラワーパークで断然と思っていたが、断然はマサラッキであった。バカッ速い馬が揃った今回はマサラッキの差が決まりそう。中京1200mは外枠断然有利。マサラッキには6枠から外に入って欲しい。昨年はマイルチャンピオンを除外されたが出ていたら今回はきっと人気になっていただろう。休養明けでG1勝利というのは確かにきついが鉄砲実績もあり大丈夫だろう。5月8日には坂路で50秒台を出しているし仕上がりはいいと見た。

フラワーパークは57kgで2度期待を裏切った。55kgなら大丈夫かというのは果たしてそうだろうか？昨年高松宮杯を制した時の勢いは無くなっているような気がしてならない。年末にエイシンワシ

ントンをハナ差で押さえた勝利が最後になるように思える。しかしながら1200mでの安定性と田原騎乗で対抗にします。

エイシンバーリンの前走は素晴らしいがこいつは京都コースを減法得意としているのです。人気にもなるだろうし、ホクトフィーパスにハナを奪われると見て惨敗のケースとなるとして切りましょう。

左回り得意な騎手の四位君シンコウフォレストの上がり馬度合がいい。昨年のフラワーパークもG1初挑戦での勝利であった。春の上がり馬を狙ってみます。時計的に安定しているホクトフィーパスが少々気になりますが、展開がきつそうなので印はつけません。

今後とも印は3頭程度にしたいと思います。々

第27回 高松宮杯

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
			エイシンバーリン	シネマスコープ	マリーゴット	ビコーベガサス	ホクトフィーパス	ノーブルグラス	フラワーパーク	チアズサイレンス	スキーミュージック	タヤスレインボー	スギノハヤカゼ	ヒシアケボノ	ニシノファイナル	シンコウフォレスト	シンコウキング	マサラッキ	メイショウテゾロ	エイティグロ	馬名
			南井	熊沢	横山賀	横山典	的場	安田富	田原	武豊	福永	松永幹	田島裕	角田	小池	四位	岡部	河内	本田	藤田	騎手
			◎			▲	○		△							△	△	△			トウインクルダソディ
						◎	◎		△				△				△				TP
					△	△			△							◎		◎			へなりん
			◎			△			◎							△		△			ドロンジョ
			△		△	△	△		△				△				△	◎			おけらくん
			◎			○			▲							△	△	△			YO
						△			◎				△			△		◎			ミスターX
			△			△			◎					△		△	△	△			ふえら
			△			◎			△				▲			△	△	○			心配御無用!
			×		×	○			▲	×						◎					ラッキー
						△	◎		◎	○							△				メーブルズ
			△			△			▲							◎		○			ライオン

いよいよ春競馬も佳境に入ってきました。次号は、オークス特集です。よろしく。